

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	福祉課
基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(1)ユニバーサルデザインの普及
実施計画事業	1)ユニバーサルデザイン普及事業(No.65)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	ユニバーサルデザインの普及	—	C
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	・国・県や民間及び各機関・団体との連携		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	現在事業について有効性や効率性を含めて検討中である。今後事業を実施していく上では、関係機関等と調整が必要である。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	誰もが安心して暮らせる社会づくりのため今後とも検討していく必要がある。今後実施される施設の改修や建替え等に併せて、出来るものから順次実施していく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	障がいのある方が健常な方と同じように日常生活を送れるようにするための手段として、ユニバーサルデザインの普及は必要であると思う。ただ、ユニバーサルデザイン化の対象となるものは多岐に渡っているので、庁内全体で認識を持って取り組む必要がある。		